

16名の青少年がタイへ海外視察

8月1日～5日

貴重な体験



▶タイ国エメラルド寺院にて

国際化、情報化、高齢化と複雑多岐にわたる社会情勢の中で、未来を担う青少年を豊かな人格と広い国際感覚を備えた人材養成を行うため、8月1日から5日まで、タイへ次の16名が派遣され、貴重な体験をさせていただきました。

林誠一さん(小川台)、師岡将司さん(西高野)、菅原康彦さん(橋場)、菅原忠幸さん(橋場)、鶴沢順一さん(篠原)、鈴木克幸さん(篠原)、鈴木尚志さん(長塚)、斉藤幸洋さん(橋場)、伊後修一さん(作間内)、藤厚子さん(尾垂五区)、林幸代さん(小川台)、鈴木明美さん(小川台)、土屋良子さん(宝米)、鈴木由美子さん(小川台)、小川聡美さん(篠原)、関口綾子さん(篠原)。

(詳しくは、次号で報告します)

ちびっ子も「鬼来迎」に強い感心

虫生の広濟寺で上演

国の重要無形文化財指定の鬼来迎が、8月16日に虫生の広濟寺で上演されました。広濟寺に続く道路は車で埋まり舞台前には、何時間も前から人垣ができました。

舞台近くには、ちびっ子たちが詰めかけ、怪奇な世界に見入っていました。賽の川原では、「なむあみだぶつ、なむあみだぶつ」と唱える中、子供たちが出てくるとひときり大きな拍手が occurred しました。

面のすごさに「こわいよ」と泣きだす子供もあつたり様ざまでしたが、伝統ある文化に触れ、見学者は満足気でした。

大変おもしろかった
興味がある

▶大勢の人が立見で熱心に見入っていた



外国人講師 ナンシー先生
○鬼来迎は、大変おもしろかったです。私は伝統的な宗教行事に、興味があります。もっと

と日本の文化について、学びたいです。
土屋博志さん(閻魔を演じる)

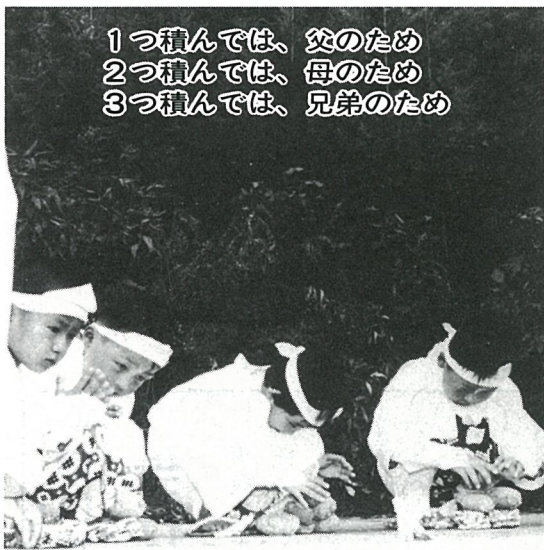
○子役で出ていたが、閻魔は初めてでした。清めの酒を飲んで舞台へ上がり、舞我夢中で演じました。見ている人の様子がお面の中から伺えました。

小川一夫さん(長塚)

○真剣みが伝わってきて、迫力がありました。

高島健くん(富里・小学3年)
○お母さんが篠本の生まれでまた、歴史に興味があるので見に来ました。おもしろかったです。

1つ積んでは、父のため
2つ積んでは、母のため
3つ積んでは、兄弟のため



涙を誘う『賽の河原』

▲子供たちがむしんに小石を積む